

件名：

【中部防災推進ネットワーク】メールマガジン Vol.38

本文：

2023 年 11 月 29 日

■+■-----
+■┘ 中部防災推進ネットワーク
メールマガジン Vol.38
■┘-----

各 位

中部防災推進ネットワークの参画メンバーの皆さまに、
メールマガジン（2023 年 11 月号）を配信します。

※メールマガジンのバックナンバー、これまでの会合の
発表資料等は中部防災推進ネットワークホームページに
掲載しています。

<中部防災推進ネットワークホームページ URL>

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/chububosai-nw.html>

1. 本ネットワークの参画団体のご寄稿

（1）一般社団法人名古屋ビルディング協会

ビルディングという表記に古めかしさを感じる方も多いと
思います。

名古屋ビルディング協会は第2次世界大戦開戦前の昭和15
年に設立されたビル（主にビジネステナントビル）所有
者の団体で歴史は80年超を数え、東京・大阪のビル協会
に続き3番目として設立されました。

景気動向により増減があるため、コロナ禍を経た今、ピ
ーク時より減少し、100社余りの会員で構成されていま
す。

当協会の主な構成員は名駅地区の大規模ビル、伏見・栄の広小路通りや大津通り沿いのビル所有者が中心となっています。

北海道札幌から九州福岡まで全国主要都市に 19 のビル協会がありますが、規模・設立背景・中核企業バラバラで最小は会員企業が 10 社しかない協会もあります。

ビル業界の災害対策の企画は東京協会内にある全国取りまとめ団体の（一社）日本ビルディング協会連合会頼りとなっています。

大手メーカー、鉄道会社、商社などの不動産部門が独立した法人は、親会社と協力しながら災害対策に取り組んでいますが、独立系の中小ビルオーナーの場合はオーナー家族と少数の社員しか構成人員がなく、普段はビルメンテナンスを専門の業者に任せているので、法的に必要な耐震補強などは行っていますが、ビルテナントを含めた災害対策まではなかなか手が回っていないようです。ましてマンションなど住居系ビルは不加盟だし、テナントビルでも当協会に加盟していないビル所有者の方が圧倒的多数である今（当協会会員はビル所有者のごく一部しかない現状）ビル業界として災害対策にもどかしさを感じています。

<名古屋ビルディング協会 URL>

<https://www.jboma.or.jp/nagoya/>

○文責（ 一般社団法人名古屋ビルディング協会
)

2. 本ネットワークの参画団体からのお知らせ (防災イベントの予定等)

(1) 静岡県

※11月20日に、内閣府防災・防テク PF 事務局からの情報提供としてご案内しているセミナーと同じものです。

○イベント名

防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム

第8回マッチングセミナー

○開催日時

令和5年12月1日（金） 10:00～17:00

○開催場所・内容

静岡コンベンションアーツセンター

グランシップ 11階会議ホール・風

○概要

内閣府主催の自治体防災課題を解決するために民間企業の先進技術と効果的なマッチング事例を紹介する第8回マッチングセミナーを静岡県静岡市で開催します。

○Web ページ URL

naikakufu-boutech-
pf.resv.jp/reserve/calendar.php?x=1701217678

（2）あいち・なごや強靱化共創センター

（主催：防災人材交流シンポジウム実行委員会）

○イベント名

防災人材交流シンポジウム「つなぎ舎（や）」

○開催日時

12月9日（土）10時30分～17時

○開催場所

中区役所ホール（名古屋市中区栄4-1-8 地下2階）

○概要

「つなぎ舎」とは、防災・減災活動に取り組む担い手がつながる場、過去の災害経験を人から人へつなぎ、地域活動の活性化につなげる場として、防災人材交流シンポジウム実行委員会が主催する地域防災力の向上を図るシンポジウムです。

どなたでも観覧可能ですので、ぜひお越しください。

（入場無料、事前申込不要、途中入場可）

【企画】※詳細は下記 Web ページをご覧ください。

・第1部 ドラマ上映（10:30～）

東日本大震災から1年を機に制作された特別ドラマ「明日をあきらめない ～がれきの中の新聞社～」

・第2部 活動報告（13:40～）

東日本大震災を経験した福島県、岩手県、宮城県の語り部の方から、それぞれの伝承活動についての現状と今後についての報告・第3部 パネルディスカッション（15:40～）名古屋大学名誉教授の福和伸夫先生をはじめとするパネリストにより、東北と中部の防災活動の担い手同士が、防災活動の未来について意見交換を行う

○Web ページ URL

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/seminar&event.html#tsunagiya>

3. 編集後記（事務局・協力団体のひとこと）

今回の寄稿はありません。
次回までお待ちください。